

第46回行政経営改革審議会後における意見について

取組NO.	ページ数	取組名	担当課	意見
1	1	町内会加入の促進	市民協働国際課	町内会加入にあたり、色々と工夫し評価もAで良いと考える。Actionにある電子回覧板やホームページ作成等で一部補助し運営のICT化を支援とあるが、高齢化率の高い農村部はどうしても紙による連絡手段が不可欠。そういった地区は町内会加入率は高いが、ICT化は難しいので小さな地区を見捨てないようにしてほしい。
2	1	町内会加入の促進	市民協働国際課	若い世代層は学校からの連絡もスマホに届く時代。結ネットの普及で、町内会の活動を役員だけではなく、広く伝えることで魅力を感じてもらえると良いと考える。
3	1	町内会加入の促進	市民協働国際課	世帯が細分化する中で、目標では住民基本台帳の世帯数を分母としているが、町内会では2世帯住宅を1世帯とみなしている場合もあるので、町内会加入率と住みよいまちづくり意識とは少し乖離があるのではないかと考える。
4	3	市民活動団体の支援	市民協働国際課	新型コロナの影響で2事業が中止となり、その結果目標値を下回り、総合評価がBとなっているが、やむを得ない事情であり、採択数は目標値に達しているので、総合評価Aでも良いと考える。(事由を表記して)
5	4	地方創生に関する包括連携協定	企画政策課	企業との包括協定の項目が多岐に渡り、多すぎるので、事象が発生した時に実効性に課題があると考え。極論ではあるが、包括協定の重要項目として防災・環境・健康、程度の大項目と規定し、これに基づいた協定も検討してみるべきではないかと考える。
6	6	企業連携による生涯学習講座開催の促進	生涯学習課	受講者の満足度を調査し、より良い講座とするためには、受講者からの率直な意見の聴取が欠かせないので、グーグルフォーム等で受講後直ちにアンケートを実施し、講師、事業実施主体が情報の共有をするとともに、講座のブラッシュアップを図るべきと考える。
7	7	スポーツイベント開催支援	スポーツ課	コロナの前か後に設定したかは分からないが、令和4年度の目標値は6,000人から変えても良かったのではないかと考える。
8	7	スポーツイベント開催支援	スポーツ課	安心安全であることと健康で社会生活を送ることが重要と考えるので大変良い企画だと考える。是非ボランティアとして活動をサポートしたいと考えるので、呼びかけをしてほしい。
9	7	スポーツイベント開催支援	スポーツ課	やむを得ない事情により目標値を下回ったので、目標値を修正して、それに対して評価を行っても良いのではないかと考える。4年度は目標値が高く、指標評価が△、総合評価Cは残念。Bでも良いと考える。

第46回行政経営改革審議会後における意見について

取組NO.	ページ数	取組名	担当課	意見	
10	7	23	スポーツイベント開催支援	スポーツ課	新型コロナの影響で参加者が減ってしまったことは仕方ないが、今後、コースを観光地周遊型にする、ブースで特産品を提供するなど、全国の人気の大会に学ぶことが必要だと考える。昨年、豊橋のハーフマラソンがネットで中継されていて、走らない人にもコースの様子が分かり興味を持ってもらえると思う。
11	7	23	スポーツイベント開催支援	スポーツ課	積極的にスポーツをしたい人を対象としたシティマラソンなどはこれからも充実させていくべきと考えるが、選手を集めることに苦勞し、町内関係者の負担も大きい市民体育大会は、近隣の自治体と同様にやめるきではないかと考える。
12	8	25	AI等情報技術利用による業務効率化の推進	情報政策課	AI-OCRやRPAは、業務内容により導入しやすい部署とそうでない部署があるように思われるので、今後の目標設定ではそのあたりを考慮することが必要だと考える。
13	11	31	多様な広報媒体を活用した市政情報の発信	秘書課	SNSなどの新たな媒体の活用も進んでいるが、新聞やテレビなどのマスコミの影響もまだまだ大きいと思うが、最近では豊川市関連の報道が少ないように感じる。閲覧者の満足度に加え、扱われる記事の量にも着目すべきと考える。
14	12	33	シティセールスの推進	元気なとよかわ発信課	新型コロナ情報から派生して閲覧数が伸びていたのが、それがなくなったことにより減少したというのは、実質的には効果的な発信ができていなかったのではないかと考える。実績値が大幅に減っているが総合評価Bというのはどうなのかと考える。
15	12	33	シティセールスの推進	元気なとよかわ発信課	移住者、定住者を促進するにあたっては、豊川市に住むと実際に自分の生活がどう楽になるのか、何が得になるのか、どういった豊かな生活が送れるのかを伝えたら良いのではと考える。行政サービスの中でも生活に直結したもの（水道代が無料、給食が美味しく栄養満点で無料、保育料が一番安いなど、他市町村と比較してメリットがあると住みたい人も増えるのではないかと考える。何か一つでも全国の市町村の「〇〇ランキングNO.1」くらいの大膽な施策があると良い。私が生活に直結しているサービスについて感じることで、豊川市はごみの分別や収集がとても楽な市だと感じる。他市へ引っ越した方と他市から引っ越して来た人ともごみ捨ては豊川市が良いと言っていた。
16	13	35	広報に関する職員の意識改革の実施	秘書課	研修後のアンケートで「理解できた」とあるが、実際にそれがこの後にどのように活用されるのか、そのあたりの受講者のコメントもあって良いのではないかと考える。
17	16	41	とよかわ応援寄附金事業の推進	元気なとよかわ発信課	他市への流出を含めた評価が必要ではないかと考える（難しい話ですが）。

第46回行政経営改革審議会後における意見について

取組NO.	ページ数	取組名	担当課	意見
18	16	41 とよかわ応援 寄附金事業の 推進	元気なとよか わ発信課	ふるさと納税はゼロサムであり、返礼用の費用が大きな割合を占めるため、税の利用としては、受け取った税収の6割程度しか利用できないことを考えると問題のある制度だと考える。しかし、制度がある以上、税収を増やす工夫をしなければならず、返礼品の取扱数を目標とするのではなく、税収の収支の黒字化を目標とすべきと考える。
19	21	51 公共施設適正 配置計画にお けるリーディ ング事業の推 進	財産管理課	一宮エリアの複合施設に児童館や図書館の規模が大きく計画されていて、幅広い層の利用者が期待できる。同エリアに体育施設もできるようだが、駐車場のスペースが少ないように感じる。
20	23	63 老朽化した市 営住宅の整理 統合	建築課	広石住宅は、建物の造りから地震などの災害時には大きな被害が出るのではと心配していたので、強く働きかけをしてほしい。
21	24	65 組織の適正化	行政課	取組みに合わせて組織の適正化をする動きは良いと考えるが、年休取得状況等と合わせて見える化し、業務負荷がどうなのかが分かるようになれば評価しやすいと考える。
22	24	65 組織の適正化	行政課	大幅な組織改編により、各課の機能の強化・効率化という点で評価できる。福祉課の機能分割は目に見えて待ち時間の短縮につながったと感じる。
23	25	73 定員適正化計 画に係る取組 みの推進	人事課	取組みに合わせて組織の適正化をする動きは良いと考えるが、年休取得状況等と合わせて見える化し、業務負荷がどうなのかが分かるようになれば評価しやすいと考える。
24	26	75 財務事務に係 るリスク管理 の推進	行政課	職員の契約書偽造・公印の不正使用は深刻に受け止めるべき。チェック体制（二重、三重の）の構築が求められる。
25	27	77 内部統制研修 等の実施	行政課	4年度は目標値が実績値を上回ったため、指標評価◎、総合評価はBとなっているが、リスク件数が29件もあり、重大事案も発生したのならCになるのではと考える。
26	28	79 人材育成基本 方針に係る取 組みの推進	人事課	豊川市の歴史やメンタルヘルスの知識を養う研修も意味のあることだと思うが、行政サービスを行う上での市民への接客対応も良くなるような研修や取組みをしてほしい。昨年からは市民として何度も市役所を利用することがあったが、職員の出発点の発し方や心無い対応に心が痛んだ経験をした。市役所でもお客様相談室のような対応窓口があると良いと感じる。市民の声を直接聞いて、サービス向上に努めることができれば職員の意識や質が上がるのではないかと考える。

第46回行政経営改革審議会後における意見について

	取組 NO.	ページ数	取組名	担当課	意見
27	28	79	人材育成基本方針に係る取組みの推進	人事課	市民意識調査の評価を基準にして、本人にもフィードバックしているとのことだが、OJTや様々な研修を通じた職員本人の評価は大切だと考える。
28	29	81	障害者活躍推進計画に係る取組みの推進	人事課	最近、精神障害や発達障害の方も多く、障害者理解促進研修では、その支援を学ぶ研修を強化して実施してほしい。また、障害者支援に通じている職員を複数配置することが必要と考える。
29	30	83	男性職員の育児休業取得率の上昇	人事課	一般企業でも男性が育児休業を取得することが当たり前になっている時代である。両立支援については当事者だけでなく、長期の育児休業から戻った時にフォローできるように全職員が学んでおくことが大切だと考える。
30	30	83	男性職員の育児休業取得率の上昇	人事課	育児休暇等、年次休暇の取得を推進すれば他の職員に負担がいくため、残業時間が増加してしまうという裏腹な関係になっている。大胆な業務の効率化を図り根本的に業務量を減少させる必要があるのではないかと考える。
31	31	85	時間外勤務時間数の縮減	人事課	時間外勤務を減らすには（かなり難しいが）、いかに業務量を減らすのが重要であり、この点についての取組みも表記すると良いと考える。
32	32	87	年次休暇取得の増加	人事課	No. 31と同様に、年次休暇を取得するためには、いかに業務量を減らすのが重要であり、この点についての取組みも表記すると良いと考える。